

令和5年度 板橋区立美術館運営協議会 会議概要

開催日時	令和5年12月5日(火) 14時00分から15時30分
開催場所	板橋区立美術館講義室
出席者	16人 [委員] 岡野委員、岸委員、返町委員、寺田委員、前山委員、安村委員、山崎委員 [区職員] 坂本区長、林区民文化部長、小林文化・国際交流課長、松岡美術館長、坂本館長代理、弘中学芸員、植松学芸員、印田学芸員、高木学芸員
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 部分公開(部分傍聴できる) <u>非公開(傍聴できない)</u>
傍聴者数	0人
議題	1 報告事項 令和4年度 事務実績報告  2 審議事項 ① 令和6年度 展覧会展示計画及び概要 ② 令和6年度 展覧会内容 ③ 令和6年度 教育普及事業計画
配付資料	① 令和5年度「板橋区立美術館運営協議会」次第 ② 令和5年度「板橋区立美術館運営協議会」委員名簿 ③ 令和4年度 事務実績(総括) ④ 令和6年度 年間展示計画 ⑤ 令和6年度 教育普及事業計画
所管課	区民文化部 文化・国際交流課 美術館 3979-3251

議事状況  
(会議概要)

(司会：小林文化・国際交流課長)

【委員委嘱】

【区長挨拶】

【会長互選】

※出席委員の推薦及び総意により、寺田農委員に引き続き会長をお願いすることとなった。また、会長の職務代理には寺田会長の指名により返町委員をお願いすることとなった。以下会長を進行役とし議事進行した。

寺田会長（以下、会長）：それでは、改めて議事に入らせていただく。

【報告及び審議事項】

(松岡館長が資料の1頁から5頁に基づき「令和4年度事務実績」について説明、館長及び各担当学芸員が資料6頁～16頁に沿って展覧会及び教育普及事業の内容を説明)

●質疑

(児童の来館者増について)

委員：小学生の来館者が増えたことは大変すばらしい。なぜ急に来館が増えたのか。

館長：コロナを経てオンラインでのやりとりなどのツールが増え、先生とのやり取りがこれまでに比べて密になったことが大きい。また、小学校3年生が地域の学習をするため郷土資料館とセットで赤塚地区を訪れる際、コロナ禍を経て資料館も一度に受け入れる人数を制限するようになったため、児童の待機場所として美術館が受け皿として機能するようになった。また「三浦太郎展」で重点的に広報した保育園児の受け入れも好評で「椿椿山展」で園児たちが古文書を読む様子が見られるなど、想定外の嬉しい需要が見られるようになった。

(ポローニャ展について)

委員：以前のポローニャ展で（目の見えない、見えづらい方のための）さわる絵本を体験したが、この試みはどのような経緯で行うようになったのか。手間もかかり予算的にも毎年は難しいとは思いますが、今後も意識として持ち続けるつもりなのか。

館長：触察ボードは2020年パラリンピックに合わせて綿密に計画して制作したが、コロナ禍で触れない世界になってしまった。今回はそのリベンジで展示ができた。触察パネルもさわる絵本も制作には相当な手間がかかり展示も難しさがあるが、アクセシビリティは今後の美術館の重要な課題なので、積極的に取り組むことには自覚的でありたい。

(古美術の展覧会2件について)

委員：歸空庵コレクション展は、未公開の30点の作品を見たいと思う。初期洋風画から幕末まで幅広く網羅した貴重なコレクションなので、館蔵品展の枠ではもった

いない。簡易な図録をつくることができたら良いが、予算が確定しているので難しいことは理解している。また、「エド・イン・ブラック」の副タイトルで「江戸絵画に見る黒色」は「色」を取って黒だけの方が恰好良い。背景を黒色で塗りこめた作品は少なくないので、線引きをよく考える必要がある。

(鑑賞教室について)

委員：小学生鑑賞教室はかなりの数を行っているので驚いた。相当な手間がかかっているのではないだろうか。

館長：板橋区の小学校は全校受け入れるようにという監査からの指摘があったこともあり、希望があった学校は基本的に受け入れている。バスを手配し、学校の先生と内容や当日のスケジュールについて何度も調整を重ね、当日も複数説明を行うことが多く手間がかかることは事実である。

委員：自分が関わった他の自治体では、バス予算がなくなったらお断りしていたが。

館長：申し上げたように監査からの指摘により、バスは補正予算を組み、増便した。

普段なかなか美術館に来館しない児童もいるが、学校単位で来館すれば皆が作品にふれられる良さがある。できる限りそのような機会をつくるべきだと考えている。

(アクセシビリティについて)

委員：ICOM（国際博物館会議）でミュージアムの新しい定義として、誰もが利用できるというアクセシビリティの重要性が掲げられている。板橋区立美術館はさわる絵本や触察パネルなどを通していち早くそれらに対して先鋭的な活動をしてきたと注目していた。

(美術館の周知について)

委員：地域の児童の利用が多いことは大変素晴らしい。美術館の存在や活動内容について、より多くの人に知ってほしいと思う。

(鑑賞教室について)

委員：小学生の鑑賞教室について、1校のみオンラインで実施した学校があるが、これはどのような理由からか。

学芸員：この場合はまずオンラインで事前学習を行い、その後美術館に来てもらった。事前学習した内容をふまえて鑑賞し、実際に絵を見て大きさを体感するなど2回に渡って内容を深めた。ここは熱心な小学校で、何度もお越し頂いている。

(他機関との連携について)

委員：美術館との学校連携についてよく理解できたが、美術館側から学校に赴いて出前授業を行うことはあるのか。また、(中央)図書館が新しくなったと聞くので、そこの連携を積極的に図るのはどうだろうか。

館長：出前授業は行ったことはあるが、本物の作品を学校に持ち込むことは難しい。何より本物に向き合っていて頂くことが作品の良さや美術館という場所について最も伝わりやすいと考えられる。そのため、美術館に来てもらうことを重視して

いる。また、中央図書館とは講座等を通してかなり連携している。

(美術館の周知について)

委員：友人に板橋区立美術館やその展示内容を話しても、知らないと言われることが未だにある。基本に立ち返り、美術館の存在をもっと知ってもらいたい。来館者はどのように情報を得ているのか、アンケートでわかることとは。SNSの利用も多いのか。

館長：展覧会来館者の場合、アンケートを記入する人数は来館者の中でも少数であり来館者全体の意見を得られるとは考えづらい。当館では、各分野（古美術・近現代・絵本）についての非常にコアなファンが多いので、そのような層に向けたアプローチが現時点では確実に有効と考えている。そのような方々にとってSNSも有効に機能していると思う。

会長：これで令和5年度板橋区立美術館運営協議会を終了する。

[閉 会]

会議の概要は、以上のとおりである。

# 令和5年度板橋区立美術館運営協議会次第

日時:令和5年12月5日(火)

午後2時

場所:板橋区立美術館講義室

1 開 会

司会:文化・国際交流課長

2 委 嘱 式

3 区長挨拶

4 各委員紹介

5 会長互選及び職務代理指名

6 会長及び職務代理挨拶

7 議 事

(1) 報告事項

令和4年度事務実績報告

(美術館長)

(2) 審議

①令和6年度展覧会展示計画及び概要

(美術館長)

②令和6年度展覧会内容

(各担当学芸員)

③令和6年度教育普及事業計画

(美術館長)

(3) その他

8 閉 会

# 令和5年度「板橋区立美術館運営協議会」委員名簿

(五十音順)

氏名	現職等	専門分野
岡野 晃子	キュレーター・映画監督	絵本
岸 ユキ	画家・女優	現代美術
佐藤 道信	東京藝術大学美術学部教授	近代美術
返町 勝治	板橋区美術家連盟代表	美術家
寺田 農	俳優	企画・運営
成澤 勝嗣	早稲田大学文学学術院教授	古美術
降旗 千賀子	フリーランスキュレーター 東京藝術大学客員教授	教育普及
前山 裕司	新潟市美術館特任館長	西洋美術
安村 敏信	(一財)北斎館館長 静嘉堂文庫美術館館長	古美術
山崎 洋子	元カフェポローニャ代表	地域文化

任期:令和5年11月1日～令和7年10月31日

## 令和4年度事務実績（総括）

### 1. 展覧会観覧者数

4年度		3年度		2年度		元年度	
9本	34,932	9本	31,656	6本	30,159	7本	37,417

### 2. 教育普及事業参加者数

#### (1) 展覧会にかかる講演会・イベント等

4年度		3年度		
講演会	156	33	-	778
イベント	503	149	-	837
計	659	182	0	1,615

#### (2) 各種技法講座・教室・各アトリエ

\*印は保育園、小中学校美術鑑賞教室を再掲

4年度		3年度		2年度		元年度	
32回	1,442	11回	726	1回	8	24回	582

\*2園9校19回 1,038人

\*6校8回 697人

\*なし

\*1校1回 69人

\*オンラインワークショップを実施

### 3. 自主サークル支援事業参加者数

4年度		3年度		
アトリエ	301	260	293	387
講義室	50	0	0	0
計	351	260	293	387

### 4. 入館者数合計 (1+2+3) - 1,038人 (重複のため鑑賞教室を除く)

4年度	3年度		
36,346	32,824	30,460	40,001

区人口 11月1日 572,962 6%

## 令和4年度 美術館展覧会観覧者数

展覧会名	期 間	開館日数	観覧者数	内 訳					うち招待免除	1日平均	観覧料
				幼児	小・中	高・大	一般	高齢			
建部凌岱展	4月1日 から 4月17日	15日	2,922	21	37	68	1,686	1,110	426	195	有料
館蔵品展(近現代) 「井上長三郎・寺田 政明・古沢岩美の時 代」	4月29日 から 6月5日	33日	3,133	65	355	58	1,638	1,017	/	95	無料
2022 イタリアボローニャ 国際絵本原画展	6月25日 から 8月7日	38日	6,576	360	697	331	4,429	759	2,042	173	有料
館蔵品展(古美術) 「ぞろぞろ・わいわ い・人だらけ」	8月27日 から 10月2日	32日	3,200	85	242	53	1,654	1,166	/	100	無料
「区民文化祭」	10月13日 から 11月6日	19日	4,434	145	600	223	1,572	1,894	/	233	無料
三浦太郎展	11月19日 から 1月9日	40日	4,449	726	470	122	2,796	335	2,072	111	有料
「区立小・中学校 作品展」	1月17日 から 2月19日	28日	8,057	403	2,458	91	3,999	1,106	/	/	無料
佐藤太清記念 中学生絵画展	1月26日 から 1月29日	4日	198	3	29	9	110	47	/	50	無料
椿椿山展	3月18日 から 3月31日	12日	1,963	5	42	43	1,142	731	300	164	有料
	/	221日	34,932	1,813	4,930	998	19,026	8,165	4,840	158	/



# 令和4年度 教育普及事業実績

## 1 講演会

No.	実施月日	テーマ及び講師	参加人員	展覧会名
1	7月18日	講演会「審査とブックフェア2022を振りかえって」 降矢奈々(絵本作家、2022ポローニャ展審査員)	39	2022イタリア・ポローニャ 国際絵本原画展
2	7月31日	講演会「ブロンズ新社の絵本づくり」 若月眞知子(ブロンズ新社代表)	38	
3	9月10日	講演会「江戸の美人画ばなし」 内藤正人(慶應義塾大学文学部教授)	38	ぞろぞろ・わいわい・人だらけ
4	3月26日	講演会「私、つばきちんさんと申します」 増山禎之(田原市博物館館長)	41	椿椿山展
合 計			156	

## 2 イベント

No.	実施月日	イベント内容、テーマ及び講師	参加人員	展覧会名	
1	5月21日	対談「牛に牽かれてひぐらし谷へ 父 寺田政明のこと」 寺田農(寺田氏ご子息、俳優)×当館学芸員	52	井上長三郎・寺田政明・ 古沢岩美の時代	
2	6月25日	対談「2022ポローニャ展入選者に聞く」 2022ポローニャ展入選者×当館館長	35	2022イタリア・ポローニャ 国際絵本原画展	
3	7月10日	対談「2022ポローニャ・チルドレンズ・ブックフェア総復習」 広松由希子(絵本評論家)×当館館長	31		
4	7月24日	対談「ポローニャ現地報告 コロナ禍とウクライナ危機の中で」 森泉文美(本展コーディネーター)×当館館長	37		
5	9月24日	演奏会「西洋風俗画とともに～ハーブがつなぐ音楽と絵画～」 小坂理江(古楽ハープ奏者)	50		ぞろぞろ・わいわい・人だらけ
6	11月20日	対談「三浦太郎さんとこれまでのこと」 三浦太郎×当館館長	42	三浦太郎展	
7	12月24日	対談「イタリアのさわる絵本とその後ろにあること」 三浦太郎×当館館長	40		
8	12月25日	対談「三浦太郎さんと絵本のこと」 三浦太郎×広松由希子(絵本評論家)	37		
9	4月9日	スライドトーク 当館学芸員によるスライドトーク	38	建部凌岱展	
	4月16日		40		
10	5月14日		13	井上長三郎・寺田政明・ 古沢岩美の時代	
	5月22日		8		
11	5月28日		15		ぞろぞろ・わいわい・人だらけ
	9月19日		9		
12	10月2日		25	椿椿山展	
	3月21日		31		
合 計			503		

### 3 技法講座・教室・各アトリエ

No.	事業名	内 容	講 師	実施回数	人員
1	ワークショップ 「ゲームデザインから 学ぶ絵本づくり」	ゲーム開発の現場で使われる手法を取り入れた絵本講座。3日間で、シンプルな色や形を使ったコミュニケーションについて学び、4場面の絵本制作を行う。	からさわようすけ (絵本作家、ゲーム デザイナー)	7月2、9、16日 (全3日間)	11
2	ワークショップ 「しかけ絵本をつくらう」	ページ全体に大きく広がるしかけを学び1冊の絵本制作を行う。	岡村志満子 (グラフィックデザイ ナー、絵本作家)	7月21日 (全3日間の予定 を短縮)	17
3	ワークショップ 「チョキチョキペタペタ 昔話絵本」	昔話のストーリーを用いて講師が用意するたくさん素材を使い、切ったり貼ったりしながら、2日間で1冊の絵本制作を行う。	なかむらしんいちろう (絵本作家、日本児 童教育専門学校専 任講師)	8月3、10日 (全2日間)	5
4	ワークショップ 「大人が出会うしかけ 絵本」	しかけ絵本の歴史や種類を学び、古いものから新しいものまで実物を見て、さらにしかけを組み立てたりしてみることで、しかけ絵本への理解を深める。	吉田稔美 (絵本作家、イラスト レーター)	11月26日、 12月3、10日 (全3日間)	15
5	こどもアトリエ	幼児(3歳)から小学生がさまざまなジャンルのアーティストによる指導のもと親子で楽しみながら造形体験をするワークショップ。	のぐちようこ、スサイタカ コ、オオノ・マユミ、むらか みひとみ、三浦太郎、ふ しみみさを	4月24日、5月15日 6月26日、7月17日 12月4日、3月19日 (1日2回×6日) 全12回	318
6	夏のアトリエ	イラストレーターを対象に、今回はファーストブックをテーマに絵本制作の総合的・専門的な指導を行う。	若月真知子 (ブロンズ新社代表)	9月27日～10月1日 (全5日間)	20
7	ワークショップ	絵を見ることを楽しむためのワークショップ	当館学芸員	5月29日	9
		江戸絵画をもっと楽しもう		9月17日	9
合 計					404

#### 4 美術鑑賞教室

No.	イベント名	内容・講師	実施月日	参加人員	開催展覧会
1	小学生鑑賞教室 (下赤塚小5年生)	内容:小学生が美術作品を美術館で 実際に見ることで、興味を引き出し、 作品の美しさや面白さを感じる機会と する。  講師:当館学芸員	5月19・20日 オンライン	89	館蔵品展近現代 井上長三郎・寺 田政明・古沢岩 美の時代
2	小学生鑑賞教室 (下赤塚小5年生)		5月24日	92	
3	小学生鑑賞教室 (志村第二小5年生)		6月1・2日	92	
4	小学生鑑賞教室 (小学校図工部会教員)		6月22日	15	2022イタリア・ ボローニャ国際 絵本原画展
5	小学生鑑賞教室 (志村第二小4年生)		6月24日	95	
6	小学生鑑賞教室 (小学校図工部会教員)		6月24日	9	
7	小学生鑑賞教室 (上板橋第二小4年生)		7月7日	60	
8	小学生鑑賞教室 (板橋第二小3・4年生)		7月13日	69	
9	中学生鑑賞教室 (志村第四中特別支援)		7月28日	27	
10	小学生鑑賞教室 (板橋第二小5・6年生)		9月17日	78	
11	小学生鑑賞教室 (下赤塚小6年生)		9月22日	82	
12	小学生鑑賞教室 (志村第一小3年生)		11月24日	69	三浦太郎展
13	保育園鑑賞教室 (しらさぎ保育園)		12月7日	25	
14	中学生鑑賞教室 (高島第一中特別支援)		12月14日	14	
15	保育園鑑賞教室 (しらさぎ保育園)		12月16日	24	
16	小学生鑑賞教室 (緑小3年生)		12月20日	49	
17	保育園鑑賞教室 (にじいろ保育園)		12月21日	16	
18	小学生鑑賞教室 (志村第四小4年生)		2月15日	109	小・中学校作品 展
19	保育園鑑賞教室 (しらさぎ保育園)		3月22日	24	椿椿山展
		合 計	1038		
		(内訳)	児童・生徒	934	
			引率	104	

## 令和6年度 年間展示計画

会 期	展 覧 会 名	概 要	料 金
3月2日(土) ～ 4月14日(日) 【38日間】	シュルレアリスム宣言 100年 シュルレアリスムと日本	20世紀最大の芸術運動「シュルレアリスム」。アンドレ・ブルトンの『シュルレアリスム宣言』の発表から100年を記念して行われる本展では、東郷青児、福沢一郎をはじめ、帝国美術学校、東京美術学校に通った画家たち、戦後に描かれた山下菊二らによるシュルレアリスムの影響を受けた作品を通して多様なイメージの展開をご紹介しますと同時に、彼らが生きた時代を振り返ります。	有料
5月3日(金・祝) ～ 6月16日(日) 【39日間】	歸空庵コレクションによる 洋風画という風 近世絵画に根づいた エキゾチズム (仮称)	当館でお預かりしている西洋風の絵画技法を用いた「洋風画」による歸空庵コレクションには、近世初期の西洋風俗画や秋田蘭画、司馬江漢といった名品から、大らかで民衆的な絵までもが含まれます。本展では、2004年に一挙公開されて以来存在感を放ち続けたこれらから、公開未公開作品を加えた選りすぐりの作品を展示します。	無料
7月2日(火) ～ 8月12日(月・祝) 【37日間】	2024イタリア・ボローニャ国際絵本原画展	今回で開催58回目を迎えるイタリア・ボローニャ市で毎年開催されている世界最大の規模を誇る絵本原画コンクール。世界中の新人イラストレーターの登竜門とされている国際コンクールの入選作品を展示します。板橋では44回目を迎えます。	有料
8月22日(木) ～ 9月23日(月・祝) 【29日間】	館蔵品展(近現代) もっと魅せます! 板橋の前衛絵画 シュルレアリスムとア ブストラクト・アート	1930年代シュルレアリスム絵画とアブストラクト・アート(抽象絵画)は日本の画家や画学生を魅了し、それらの影響を受けた作品が次々に誕生しました。本展では前衛美術の2大潮流が日本でどのように受容され、展開したのかを作品と資料から読み解きます。同時開催の特集展示としてシュルレアリスムに影響を受け、長く板橋区前野町に暮らした画家、古沢岩美の作品と新収蔵資料をご紹介します。	無料
10月3日(木) ～ 10月27日(日) 【19日間】	区民文化祭	区民書道展 [10/ 3～10/ 6] 4日 美術家作品展 [10/ 9～10/13] 5日 区民美術展 [10/16～10/20] 5日 書家作品展 [10/23～10/27] 5日	無料
11月9日(土) ～ 1月13日(月・祝) 【52日間】	レオ・レオーニとその 時代展(仮称)	レオ・レオーニ展は1997年に世界に先駆けて当館で企画開催し、さらに2020年にも開催し注目を集めました。こうした板橋区立美術館のレオーニ研究の活動が評価され、2019年に68点のレオーニ作品の寄贈がご遺族から当館に寄贈されています。今回はその寄贈作品も活用してレオーニと交流があったり影響を受けた画家たちの作品も含めて美術の歴史の中からレオーニの作品を展覧します。	無料
1月21日(火) ～ 2月23日(日) 【28日間】	区立小・中学校 作 品 展	中学校作品展 [1/21～2/2] 12日 小学校児童作品展 [2/ 6～2/23] 16日	無料
2月6日(木) ～ 2月9日(日) 【4日間】 場所:成増アクトホール	佐藤太清記念 中学生絵画展	佐藤太清記念青少年美術奨励基金条例に基づき、全国の中学生の絵画作品を広く公募し、展示。また京都府福知山市が全国の高・大学生から公募した絵画作品の巡回展を同時開催します。	無料
3月8日(土) ～ 4月13日(日) 【32日間】	エド・イン・ブラック 江戸絵画に見る黒色 (仮称)	色彩の中で「黒」は何にも染まらない特異な存在といえます。本展では、黒色に着目することで、江戸絵画の表現の豊かさとその魅力に迫ります。夜の情景を描いた作品や、一部の人に受容された黒を用いた特異な表現、北斎を中心とした版本挿絵などから、黒の多彩な世界をお楽しみください。	有料

# 『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本

趣 旨 20世紀最大の芸術運動「シュルレアリスム」。フランスで誕生し各地の芸術、思想、文化に影響を及ぼした運動は、日本の芸術家をも魅了しました。アンドレ・ブルトンの『シュルレアリスム宣言』の発表から100年を記念して行われる本展では、東郷青児、福沢一郎をはじめ、帝国美術学校、東京美術学校に通った画家たち、戦後に描かれた山下菊二らによるシュルレアリスムの影響を受けた作品を通して多様なイメージの展開をご紹介しますと同時に、彼らが生きた時代を振り返ります。

会 期 令和6(2024)年3月2日(土)～4月14日(日)  
【38日間】

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休 館 日 月曜日

主催・会場 板橋区立美術館・東京新聞

観 覧 料 一般650円、高・大生450円、小・中学生200円

関連イベント 講演会、ワークショップ、小学生鑑賞教室(予約あり)

展 示 点 数 油彩画、デッサン、オブジェ、美術資料他、  
約150点(展示替あり)

巡 回  
京都府京都文化博物館 2023年12月16日(土)～2024年2月4日(日)  
三重県立美術館 2024年4月27日(土)～6月30日(日)

歸空庵コレクションによる

# 洋風画という風

近世絵画に根づいたエキゾチズム

(仮称)

**趣 旨** 当館では、西洋風の絵画技法を用いた「洋風画」による歸空庵コレクションをお預かりしており、2004年には、桃山時代から明治初期に至るそれらを一挙公開しました。以後、これらの作品は数々の展覧会で存在感を放ち続け、新たな研究成果も生まれています。歸空庵コレクションには、近世初期の西洋風俗画や秋田蘭画、司馬江漢といった名品から、大らかで民衆的な絵までもが含まれます。また、中国経由で日本にもたらされた写実的な画風も洋風表現と深い関わりを持ちました。本展では、洋風画の通史を概観した上で、いくつかのトピックに掘り下げてこれらをご紹介します。未公開作品も含め、近世絵画に新鮮な風を送り込み、これまでになかった表現を切り拓いた洋風画の魅力に迫ります。

**会 期** 令和6(2024)年5月3日(金・祝)～6月16日(日)  
【39日間】

**開 館 時 間** 9:30～17:00(入館は16:30まで)

**休 館 日** 月曜日  
但し5月6日(月・祝)は開館し、翌7日(火)は休館

**主 催 ・ 会 場** 板橋区立美術館

**観 覧 料** 無 料

**関連イベント** 講演会、ギャラリートーク、ワークショップ、小学生鑑賞教室

**展 示 点 数** 屏風、掛軸、卷子など約50点

# 「2024 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

趣 旨 イタリアのボローニャで毎年児童書専門のブックフェアが行われます。本展はこのブックフェアが主催する子どもの本のイラストレーションのコンクールの入選作品を紹介するものです。国籍の異なる5人の審査員は毎年入れ替わり、多様性を重視して選考されます。また、出版・未出版を問わず応募できるため新人作家の登竜門としても知られ、多くの絵本作家を輩出してきました。

板橋での巡回は2024年で44回目となります。来場者には若者や家族連れも目立ち、またイラストレーターや出版関係者が多く訪れることも本展の特徴です。会期中には子どもや作り手に向けた講座やワークショップも予定しています。

会 期 令和6(2024)年7月2日(火)～8月12日(月・祝)  
【37日間】

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休 館 日 月曜日  
但し7月15日(月・祝)は開館し、翌16日(火)は休館  
8月12日(月・祝)は開館

主催・会場 板橋区立美術館、  
JBBY(一般社団法人日本国際児童図書評議会)

観 覧 料 一般650円、高・大生450円、小・中学生200円

関連イベント ワークショップ、講演会、小学生鑑賞教室

展 示 点 数 入選作品約400点

巡 回 予 定 西宮市大谷記念美術館、石川県七尾美術館

## 館蔵品展 もっと魅せます！板橋の前衛絵画

### シュルレアリスムとアブストラクト・アート

特集展示 古沢岩美の技と美

趣 旨 2024 年はアンドレ・ブルトンの「シュルレアリスム宣言」発表から 100 年です。シュルレアリスム絵画は日本の画家や画学生を魅了し、1930 年代を最盛期としてシュルレアリスム風の作品が次々に生まれました。また、日本ではシュルレアリスムとほぼ同時期にアブストラクト・アート（抽象絵画）も流行しました。本展では「シュルレアリスムと日本」展では残念ながら紹介できなかった作品も含め、前衛美術の 2 大潮流が日本でどのように受容され、展開したのか、作品と資料から読み解きます。

また、第 1 展示室では特集展示としてシュルレアリスムに影響を受け、長く板橋区前野町に暮らした画家、古沢岩美の作品と新収蔵資料をご紹介します。

会 期 令和 6 (2024) 年 8 月 22 日 (木) ～ 9 月 23 日 (月・祝)  
【29 日間】

開 館 時 間 9:30～17:00 (入館は 16:30 まで)

休 館 日 月曜日 (但し 9 月 23 日 (月・祝) は開館)

主 催 ・ 会 場 板橋区立美術館

観 覧 料 無 料

関連イベント ワークショップ、小学生鑑賞教室

展 示 点 数 油彩、水彩、オブジェ、陶器など約 90 点  
美術雑誌、写真、書簡ほか資料



# 「区民文化祭」

趣 旨 広く区民の美術・書道の普及、発展を図るため、区民参加による展覧会を開催します。

会 期 令和6(2024)年10月3日(木)  
～10月27日(日)〔19日間〕

- (1) 区民書道展 10月3日(木)～10月6日(日)〔4日間〕
- (2) 美術家作品展 10月9日(水)～10月13日(日)〔5日間〕
- (3) 区民美術展 10月16日(水)～10月20日(日)〔5日間〕
- (4) 書家作品展 10月23日(水)～10月27日(日)〔5日間〕

主 催 板橋区

共 催 板橋区文化団体連合会、板橋区書道連盟、板橋区美術家連盟、  
(公財)板橋区文化・国際交流財団

会 場 板橋区立美術館

観 覧 料 無 料

## 「レオ・レオーニとその時代展」(仮称)

趣 旨 レオーニ展は1997年に世界に先駆けて当館で企画開催し、さらに2020年にも開催し注目を集めました。新型コロナウイルス感染症対策のため、完全予約制にするなどの工夫が必要となりました。しかし、板橋区立美術館のレオーニ研究の活動が評価され、2019年に68点のレオーニ作品の寄贈がご遺族から当館に寄贈されています。

今回はその寄贈作品も活用してレオーニと交流があったり影響を受けた画家たちの作品も含めて美術の歴史の中からレオーニの作品を展覧します。朝日新聞社が事務局を務め、日本国内5会場程度の巡回を予定しています。板橋区立美術館会期中には国際シンポジウムなども開催します。「絵本のまち板橋」を国際的に発信する良い機会となるでしょう。

会 期 令和6(2024)年11月9日(土)  
~令和7(2025)年1月13日(日)  
【52日間】

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

休 館 日 月曜日

主 催 板橋区立美術館、朝日新聞社

観 覧 料 一般650円、高・大生450円、小・中学生200円

関連イベント 小学生鑑賞教室、レオーニについての国際シンポジウム

展 示 点 数 油彩画、ドローイング、イラストレーション、彫刻など  
約250点

巡 回 予 定

刈谷市美術館	2025年4月から6月
美術館「えき」KYOTO	2025年11月から12月
高知県美術館	2026年4月から6月

※2026年7~8月九州地方で検討中

## 「区立小・中学校作品展」

趣 旨 小・中学校における書道・美術・図工学習の成果を展示し、広く区民に鑑賞の機会を設けます。

会 期 令和7(2025)年1月21日(火)～2月23日(日)  
【28日間】

(1) 中学校美術展 1月21日(火)～2月2日(日)〔12日間〕

(2) 小学校児童作品展 2月6日(木)～2月23日(日)〔16日間〕

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

会 場 板橋区立美術館

観 覧 料 無 料

実施団体 板橋区教育委員会  
板橋区立中学校教育研究会  
板橋区教育会  
板橋区立中学校教育研究会国語科研究部  
板橋区立中学校教育研究会美術科研究部  
板橋区教育会書写研究部  
板橋区教育会図工研究部

## 「佐藤太清記念中学生絵画展」

趣 旨 青少年の美術教育の一層の充実を図るため、佐藤太清青少年美術励基金条例に基づき、全国の中学生の絵画美術作品を広く公募し、「佐藤太清記念 中学生絵画展」を開催します。令和6年度で第23回目の開催となります。

また、京都府福知山市が全国の高校生・大学生から公募した絵画作品を展示する「佐藤太清賞公募美術展」の巡回展を同時に開催します。

会 期 令和7(2025)年2月6日(木)～2月9日(日)  
【4日間】

展 示 構 成 「中学生絵画展」 (中学生) 42点程度  
・佐藤太清賞 1点  
・板橋区長賞 1点  
・特 選 10点程度  
・入 選 30点程度

※それぞれに賞状と記念品を授与します。

「佐藤太清賞公募美術展」-福知山市分- 67点程度

・絵画の部 (高校生)  
佐藤太清賞 3点  
特 選 9点程度  
入 選 23点程度  
・日本画の部 (大学・専門学生)  
佐藤太清賞 1点  
特 選 3点程度  
入 選 26点程度

※特選作品の中から各1点に板橋区長賞を授与します。

主 催 板橋区立美術館

会 場 成増アクトホール

協 力 京都府福知山市

観 覧 料 無 料

# エド・イン・ブラック

## 江戸絵画に見る黒色（仮称）

趣 旨 色彩の中で「黒」は何にも染まらない特異な存在といえます。また、輪郭線や水墨画など、日本絵画の歴史を語る上でも必要不可欠な色です。本展では主に江戸絵画の黒色の表現に着目し、4つのテーマに沿って作品を展示します。

江戸時代には、多くの人が夜の時間も娯楽や文化を楽しみました。第1章では、夜の情景の多様な描写を紹介します。18世紀後半頃になると、背景を黒で塗りこめた作品が一部の文化人に受容されるようになります。また、同じ頃に色彩を施した細密で華麗な花鳥画や肉筆浮世絵を、あえてモノクロームで表した作品も描かれるようになります。第2章と第3章では、これらの特異な作品から黒色が象徴するイメージや意味を探ります。第4章では数多く流通した版本の中から、葛飾北斎による読本挿絵を中心に紹介します。

本展では、黒色に着目することで、江戸絵画の表現の豊かさとその魅力に迫ります。

会 期 令和7年（2025）年3月8日（土）～4月13日（日）  
【32日間】

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）

休 館 日 月曜日

主催・会場 板橋区立美術館、東京新聞

観 覧 料 一般650円、高・大生450円、小・中学生200円

関連イベント 講演会、ギャラリートーク、小学生鑑賞教室

展 示 点 数 屏風、掛軸、版本など約50点

令和6（2024）年度教育普及事業

一般向け美術技法講座・教室

講座名	内容	回数
館蔵品展 ワークショップ	館蔵品展の開催に合わせて、作品に親しむためのワークショップを開催する。 （古美術2回、近現代で1回を予定）	3
小学生対象講座	小学生を対象とした、しかけ絵本づくりを学ぶ企画。（3日間で1回）	1
中・高生対象講座	中・高生を対象とした、絵本づくりを学ぶ企画。（1日で1回）	1
高校生以上対象講座	高校生以上の一般を対象に、しかけ絵本等様々な技法を学ぶ企画（3日間で1回）	2

子ども対象事業

講座名	内容	回数
こどもアトリエ	3歳から小学生の家族対象。アーティストとともに親子で造形体験をする。	12